

# 親子を対象とした小児期からの健康習慣づくりプロジェクト

【目的】学童期から健康への意識づけを行うことで、学童自らが「からだのしくみについて知る」「食事の大切さや健康と運動との関係を知る」「これらの知識を親子で共有できる」ことを目的とします。

## 【内容】

- ①身長・体重・握力測定
- ②運動
- ③血圧・血中酸素濃度測定
- ④心臓・呼吸の音聴診体験
- ⑤健康な生活を知ろう

【対象】 田野児童センター、田野児童クラブ  
を利用している主に田野小学校1・2年生

【場所】 田野児童センター  
【実施】 R6.8.29～R6.8.2



## 身長・体重測定

ゆらゆらしながらも頑張りました

## 片足たち

## からだのノートに記録

ノートに記録しました

「食べ物」「息をする」「血と心臓」「骨と筋肉」の紙芝居を、子供たちは真剣に聞いていました。

体のしくみ・働き

からだってどうなってるの？

## 紙芝居

## 田野町福祉まつり

【実施】 R6.11.17

## 地域連携

## 母子ケア会議

【実施】 R6.11.13

福祉まつりに参加して、子ども達の血圧、血中酸素濃度を測定しました。「コロナの時に測った！」という声もありました。覚えていてくれることに感激しました。

田野町内の母子保健関係者が集まる会議にて宮崎大学澤田教授から「こどもの肥満」について講演をしていただきました。皆さん関心を持って聞いておられました。地域で子どもの健康に関心が高まることを期待します。